

資料室だより 127

音楽室Cの棚を整理してありましたら大きな茶封筒に入れられた楽譜が眠っているのに気づきました。封筒には本科生作品、と書かれ「柿沼洋子さん」と名が記されておりました。第4期生として本科、専攻科を卒業された柿沼さんのオルガン作品でした。まさに肉筆の自筆楽譜とそれをコピー製本したものがセットになっておりました。中身を拝見して、これは皆さんに紹介しなければと思いました。かつて本科で勉強された方の貴重な証しであり、グレゴリオを飾る一輪のバラのように思えました。

Partite diverse sopra il corale 《Christ lag in Todesbanden》

脱稿は1988,3.31 聖木曜日、とあります。

「キリストは死の縄目につきたもう」に基づくオルガン変奏曲です。レジストレーションも指使いも書き込まれております。見やすい美しい楽譜ですのでいつでも利用に供せるように通常の楽譜として受け入れの手続きをいたしました。分類番号はJMS/K13/1
コピーして使用なさる場合は著作権者の許可が必要になりますのでお申し出ください。

今まで本科で作曲作品を残された浅井寛子さん、坂本日菜さんの作品群に柿沼さんの作品が加わりました。30年も前のことですが封筒に入れて棚の奥に置いておくだけでは音楽作品は生きません。世に出て人々の中で音楽は呼吸をはじめます。利用をお待ちしています。

(杉本ゆり 記)